

# LED箱文字看板

## 取扱説明書



設置方法解説  
動画はこちら



### LED箱文字看板種類



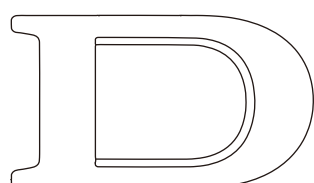
正面発光タイプ



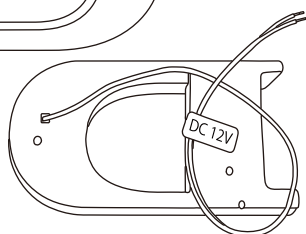
背面発光タイプ

### セット内容

※寸切りボルト1本に対して4つのナットを使用します。

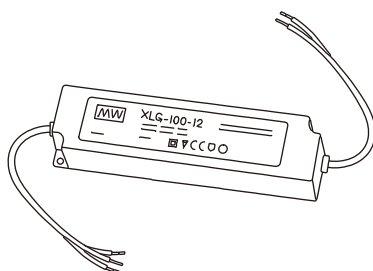


オモテ

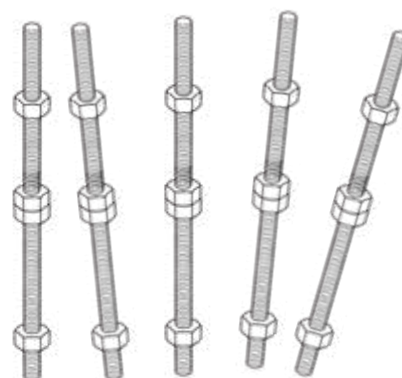


ウラ

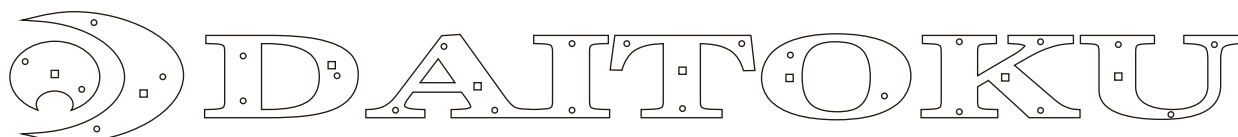
箱文字看板本体



電源



ナットと寸切りボルト



取付原稿（台紙）

## 取付手順（下記は一例につき、取付状況によって変わります。）

※ここで紹介する手順は、あくまでも一例です。取付壁面の状態や電源の設置場所等の条件によって、最終的な手順については現場ごとに都度ご確認ください。  
 ※必ず事前にLED箱文字看板の通電テストを行ってください。  
 ※排水用の穴が裏面下部に存在します。そのため、屋外に取り付ける場合は必ず垂直に取り付けるようにしてください。

START

### 取付面の準備

#### 01 LED箱文字看板の取付位置の水平を計測



水平器で傾きを確認しながら、LED箱文字看板がしっかり水平に取付けられるように位置を正しく決めます。

#### 02 取付原稿を取付位置に貼り付ける



付属の取付原稿台紙を取付位置に貼り付けます。

#### 03 取付原稿の上から穴あけ個所に目印をつける



取付壁面に貼り付けた取付原稿の上から、ボルト用の穴を開ける箇所にポンチ等で印をつけます。

#### 04 目印通りにドリル等で穴をあけます



取付原稿をはがし、先につけた目印通りに看板取付用の穴をあけます。穴の大きさについては、この後の手順05で使用するアンカープラグやナッターのサイズに準じます。

#### 05 ボルト用の穴を作ります

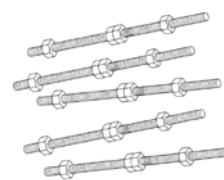


先にドリルで空けた穴にボルトを回し入れるための準備をします。アンカープラグやナッターなど、壁の種類に応じて適宜方法を選択します。後述（手順06）の寸切りボルトサイズを基準にしてください。

NEXT

### 箱文字看板側の準備

#### 06 ボルトとナットを確認（下記の図参照）



本製品では寸切りボルト1本に対して4つのナットを使用し、内2つのナットは、出荷時に、寸切りボルト中央にてダブルナットで固定しています。（上記の図参照）

寸切りボルト:M6

#### 07 箱文字看板裏面のネジ穴にボルトを20mm程回し入れます



箱文字看板裏側のネジ穴に寸切りボルトを20mm程の深さまで回し入れてください。

NEXT

### 箱文字看板の取付けと配線

#### 08 事前に準備した壁のネジ穴にボルトを10mm程戻し入れます



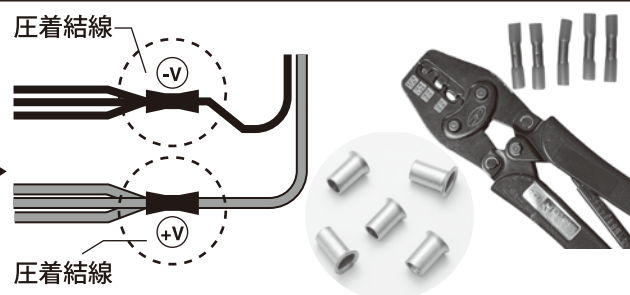
箱文字看板裏側のネジ穴に寸切りボルトを10mm程の深さまで戻し入れてください。ボルトを回す際は、中央のダブルナットで固定されている部分を利用すると便利です。緩まないようにしっかりとナットを締めて、壁側および文字側共に固定してください。

#### 09 各箱文字の配線コードを防水モール等に通してまとめます



各箱文字の配線コード長は、デザイン全体（すべての文字が揃った取付け状態）の横幅合計+2.3mです。これらのコードを防水モール等にまとめて通し、電源設置側に流します。

#### 10 各配線を結線して電源と接続（箱文字側、電源プラグ側共）※次ページの製品構成図参照



各配線コードの+と-を確認し、圧着スリーブ（リングスリーブ）等で結線し、電源側とつなぎます。設置環境等を鑑みて、必要に応じて適宜防水処理をしてください。

#### ⚠ ご注意

本書は、まとめ配線を前提に解説していますが

**ABCD** (まとめ配線) 電源

渡り配線にする場合は電流が集中しますので、渡り配線の電流値にご注意ください。

**ABCD** (渡り配線) 電源

※納品仕様書に本製品の電流値の記載があります。

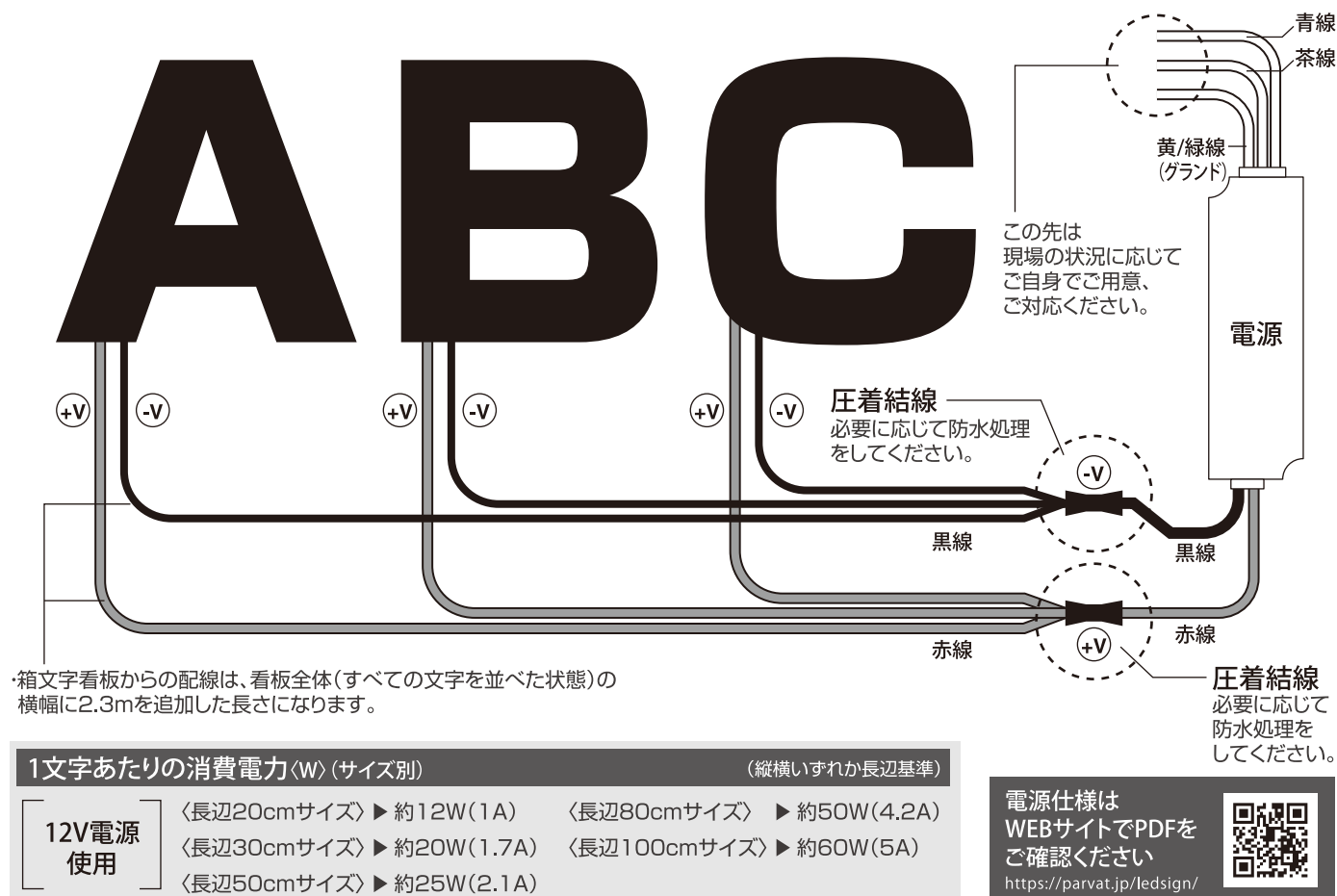
SUCCESS

改めて通電が  
確認できれば  
完成です



設置方法解説  
動画はこちら

## 製品構成図



## 製品仕様

### 正面発光タイプ

|          |                                  |
|----------|----------------------------------|
| 発光タイプ    | ▶ 箱文字内部のLEDライトが発光し、正面のパネルを通して照射。 |
| 本体素材     | ▶ ステンレス                          |
| 正面パネル素材  | ▶ アクリル                           |
| 本体カラー    | ▶ PANTONEカラーで指定可能                |
| 正面パネルカラー | ▶ CMYKで指定可能(UVカラー印刷)             |
| 電源       | ▶ MEAN WELL社製電源(IP67)            |

### 背面発光タイプ

|          |                                  |
|----------|----------------------------------|
| 発光タイプ    | ▶ 箱文字内部のLEDライトが発光し、背面のパネルを通して照射。 |
| 本体素材     | ▶ ステンレス                          |
| 背面パネル素材  | ▶ ポリカーボネート                       |
| 本体カラー    | ▶ PANTONEカラーで指定可能                |
| LED発光カラー | ▶ 8色から指定可能                       |
| 電源       | ▶ MEAN WELL社製電源(IP67)            |

## 【注意事項・禁止事項】 取付作業をする前にご確認ください



注意

- 取付作業に入る前に必ず各LED箱文字看板の通電テストを行い、問題なく発光するかを事前にご確認ください。
- LED箱文字看板裏面の下部には水抜き用の穴が空いています。この機構を機能させるためにも、取り付けの際は必ず、この水抜き用の穴を下にしてLED箱文字看板が垂直になるようにしてください。
- 製品に表示された電源電圧と周波数範囲を厳守してください。感電・発火の原因となります。
- 万一、煙や異臭等の異常を感じた場合、すぐに電源を切って販売元へご連絡ください。
- 高温・高湿・塵埃・ガス等の発生がある場所、引火性物質がある場所では使用しないでください。
- 点灯中にLED発光部の光源を長時間直視しないでください。
- 構成変更および本製品の取付・取外しの際は、必ず電源を切ってから作業を行ってください。
- 看板本体に強い日差しが当たる場所や、看板周囲が壁などで覆われているなど、看板本体が高温になる場合は、看板を壁面から浮かす、放熱用の穴を設けるなどの熱を逃がすための対策を必ず行ってください。



禁止

- 濡れた手でLED箱文字看板の配線作業を行わないでください。
- LED箱文字看板は文字単位で独立しており結線作業が発生します。したがって電気工事士資格を持つ方の施工が必要となります。感電・破損・火災等重大な事故にもつながりますので、資格を持たない方は行わないでください。
- 発電機による入力電源での使用はできません。過度の電圧変動による回路の破損およびLED素子破損の原因となります。

## お手入れについて

- 清掃は、柔らかい布などをよくしぼり、水拭きをしてください。水拭きをした後は、必ず乾拭きをして水分が残らないようにしてください。
- アルコール・シンナー・薬品・洗剤などを使用時の拭き取りはしないでください。破損や故障の原因となります。
- 可燃性ガスを含むスプレーや、冷却スプレーを吹き付けしないでください。変形、ひび割れ、変色、火災等の原因となります。